

意見発表様式

| | |
|-----|--|
| 氏名 | 大原 義盛 |
| テーマ | <p>1、鴨川の歴史と文化的価値の継承、適正な利用の推進を図るための取り組みについて</p> <p>2、文化的観点からの公園としての鴨川および河川敷での取り組み</p> |
| 意見 | <p>鴨川条例の基本理念である歴史と文化的価値の継承、適正な利用の推進を図るためには 今一度具体的に継承すべき点や基準を明確にするべきではないでしょうか。</p> <p>施策ごとに検証したり議論することは必要ですが予め明確な基準を持つことでそれぞれの施策をより円滑に進めたり新しい施策を打ち出しやすくてできるのではないのでしょうか。</p> <p>府民の憩いの場であることはもちろん、世界的観光都市の中の観光地の一つとしてあるべき姿、目指すべき姿について議論していただきたいです。</p> <p>400年前は歌舞伎をやっていて遊興の場でした。</p> <p>今から 100 年後の人たちは 500 年前には歌舞伎をやっていて、そして 100 年前からも歌舞伎をやっていて今もやっている。</p> <p>そう言われるのでもいいですし、500 年前は歌舞伎をやっていて 100 年前からはこんなことをやっていて、今もやっていると言われるような新しい文化の創造を目指せるのではないのでしょうか。</p> <p>来訪者を含めた利用者が安心安全、快適な場所であることにプラスして楽しい場所となるような取り組みをもっと増やしていけないのでしょうか。</p> <p>心と体の健康を増進させられる、そんな場所となりうる取り組みが新しい、そして継承していく文化になると思います。</p> <p>文化的な事業の幅を広げてより多くの団体や考えを取り入れていくのはどうでしょうか。</p> <p>そのためにも先に目指すべき基準守るべき基準などを議論を深めて明確にして頂きたいです。</p> |

意見発表様式

| | |
|-----|---|
| 氏名 | 小林明音 |
| テーマ | (1)『良好な鴨川景観とは何か?』を問い続ける場に。 (2)「良好な鴨川景観」を引き継ぐ意思を広く発信する場に。 (3) 会議そのものも発展的に改善を考える場に。 |
| 意見 | <p>(1)『良好な鴨川景観とは何か?』を問い続ける場に。</p> <p>私は、「鴨川景観」を素晴らしいものとして次世代に引き継ぐことが現代の私たちの役割だと思っている。常に視点場を意識した景観の在り方を考えるとともに、その場所に最もふさわしい「鴨川景観」とは何か?を念頭に置いた開発行為を心がけ、後世に「良好な鴨川景観」を残していきたいと思う。そのため、河川断面内や沿岸の開発行為に対する案件もぜひ積極的に考える場にさせていただいたら、と願う。</p> <p>(2)「良好な鴨川景観」を引き継ぐ意思を広く発信する場に。</p> <p>(1)と併せて、京都府や鴨川府民会議からも、良い鴨川景観を後世に引き継ぐ意思を、効果的かつ魅力的に発信していただけたら、と願う。水と人との関係は日々の暮らしに密接に関わるものであり、人との営みの結果が目に見えて現れるものが「景観」だと思う。府民の方々に対しては、背景にある歴史や文化を知って敬い、暮らしのひとつひとつが「鴨川」とつながっていることがわかりやすく人々に根付くための発信を期待したい。また、国際観光都市京都においては、暮らし人だけでなく訪れる多くの方々にも同様に、「鴨川景観」の素晴らしさを感じていただける機会に恵まれている。府民が行うツアーガイドの育成やマップやガイドブックなどの充実支援を行うことで、来訪者に対しても効果的な発信を期待したい。</p> <p>(3) 会議そのものも発展的に改善を考える場に。</p> <p>2年間、会議メンバーとして参加させていただき、これまで何回も議論を重ねられた参加者の皆様、さらにご意見をひとつひとつキチンと受け止めながら河川行政に務めてこられた京都府の方々の労力と真剣さに触れることができた。鴨川に関係し、興味をお持ちの方々が同じテーブルにつくことは大変貴重な場であり、どちらがより大切、という話ではなく、その局面によって誰が何を優先して決めるか、が未来を作っていく。様々なご意見があることを、お互いに理解しあう姿勢を持つ方々が集まる場であることに非常に感動した。ぜひこの貴重な場をより効果的に継続して頂くため、会議そのものが発展的に改善を加えていく場になることを期待したい。例えば、会議の持ち方を見直しより効果的に意見を頂く工夫を検討する、広報の在り方を府民目線で考え直しより効果的で興味を惹くものに改善する、など。会議については、1回の会議では意見交換に時間的限界があることを感じるので、テーマごとにワーキンググループなどを設置し、より具体的な議論を行うことも効果的ではないかと考える。また広報については、せっかくの貴重な会議の場と、そこで意見交換された質の高い議論は、さらに広く知っていただくに値すると感じるため、見せ方の工夫で皆様の鴨川に対する意識を高めていく一助になることも可能ではないかと考える。</p> |

意見発表様式

| | |
|-----|--|
| 氏名 | 小牧 直人 |
| テーマ | 鴨川の教育的利用について |
| 意見 | <p>府民会議に参加し特に意見を出せていなかったのですが、今後転勤により不在となりますので、その中で意見として感じたことを意見書として提出いたします。</p> <p>鴨川は観光的に重要な場所であり、市民の利用という意味でも大きな役割をもっております。それに加えて鮎やオオサンショウウオなど貴重な動物、多くの水鳥が来る場所として自然環境的にも優れた場所です。</p> <p>私は南区に住んでいたのですが、大きな川幅をもつ桂川では死人が出るなど、容易に遊ぶことができず、近くの用水路で遊んでおりました。ザリガニやメダカ、フナ程度が生息している程度の場所です。</p> <p>そこに比べると鴨川は上流と下流で危険度が大きく変わりますが、上流であれば、遊ぶことのできるレベルにあり、自然環境も多様です。</p> <p>そんな鴨川を今後も官民一体で良くしていくためには鴨川が子供たちにとって身近な場所になることが重要だと考えます。</p> <p>私も参加している鴨川探検再発見で河川課の方主催で川に入り、子供と魚を採ったり、冬には冬鳥を見たりと多少の教育的側面はありますが、もっと利用できるのではないかと思います。</p> <p>子供が自主的に川に入り、生き物と触れ合うことで、大人になっても忘れることのない思い出を作れるような川にしていければ、多様な生態系をもった鴨川を維持していけるのではないかと考えます。</p> <p>そこで、意見としては今より多くの親水域を作れるようにはできないかということをご提案します。親が安心して子供を川に遊ばせることのできるような場所ができればと思います。</p> <p>安全性が第一であるため、遊ばせることは難しいかもしれませんが、現在もワンドを作ってみたりと実施はしていただいておりますが十分ではないと思います。</p> <p>他には防災的側面から河川改修工事を実施していると思いますが、その計画について過去の暴れ川としての歴史教育を含め、近隣小学校や中学校の授業の一つとして何か組込むのも面白いかもしれません。</p> <p>そういった観点で何か取り組みが生まれれば面白くなると思います。</p> <p>以上です。</p> |